

医療費適正化事業 正しく知ろう! 医療費のこと

問い合わせ 保険介護課 ☎2141



国民の医療費は高い状態が続いています。医療費が増えている原因はさまざまです。例えば、私たちが知らず知らずに行っている医療の受け方や、生活習慣などが原因になっている場合があります。その原因を理解し、医療費の節約に取り組みましょう。

市国民健康保険の医療費の推移

市国民健康保険の医療費の推移を見ると、平成25年度の一人あたりの総医療費は392,116円で、前年度より3.6%増加しています。生活習慣病に着目した特定健康診査が始まった平成20年以降も、総医療費は増加傾向にあります。【表1】

医療費の増加が保険料の引き上げを招きます
私たちが病院の窓口で支払っているのは医療費の一

部で、残りは医療保険が負担しています。医療保険の財源を大きく分けると、私たちの「保険料」と国や県の「補助金（私たちの税金）」で成り立っています。医療費は近年高い状態が続いていますが、医療費が増えています。医療費の引き上げを招いてしまう可能性があります。



医療費増加の原因を
考えてみましょう

医療費増加の原因はさまざまですが、私たちの医療費に対する認識不足が引き起こしているものもあります。それらを理解し、医療費を節約しましょう。

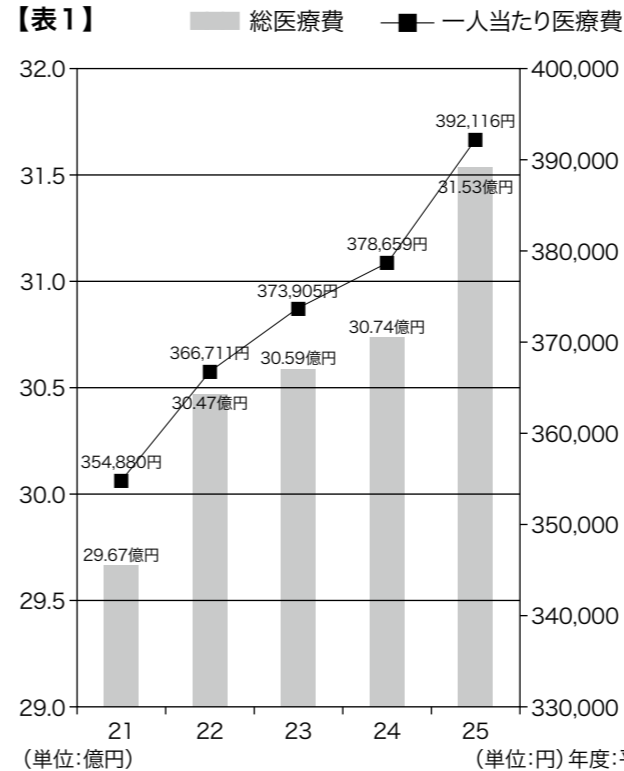
医療機関へのかかり方

必要以上に医療機関に通院したり（多受診）、同じ症状でいくつもの医療機関に通院したりする（重複受診）と医療費が増加します。



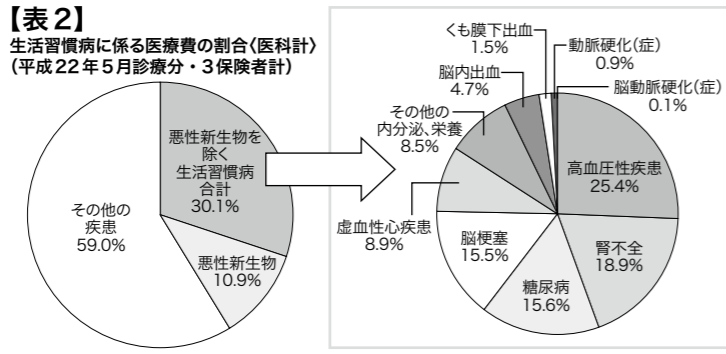
生活習慣病の増加

飲酒、喫煙、ストレス、運動不足などの不規則な生活が要因で起こる生活習慣病が増えています。これらの疾患は治療に長い期間がかかるため、医療費が増加します。



生活習慣病とは

糖尿病、高血圧はもちろんのこと、心臓病、脳卒中などの「循環器系の疾患」や、がんなどの「悪性新生物」のことをいいます。また、これらの生活習慣病は医療費全体の4割を超えています。



健診の効果

病気の早期発見・治療につながる。早期に治療すれば、治る確率も高まります。年に1回は必ず健診を受けて、健康状態をチェックしましょう。

- 健康に対する意識が高まり、普段の生活を見直すきっかけとなります。
- 健康状態の変化が継続的にチェックできるので、セルフコントロールの指標となります。
- 若い年齢のうちからの定期的な受診は、健やかな老後の前提となります。

大竹市で受診できる(健)検診

大竹市では、40歳以上の方を対象に、市内の各医療機関で、特定健康診査(国保)と一般健康診査とがん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)が受診できます。自己負担額は無料です。(がん検診は、大腸がん検診のみ無料です)詳しくは、社会健康課(☎2153)までお問い合わせください。



整骨院・接骨院のかかり方

保険で請求できる傷病名は、限られています。「骨折」、「不全骨折」、「脱臼」、「捻挫」、「打撲」、「肉離れ」などです。負傷原因は、必ず必要です。スポーツ・家事・農作業など、日常生活動作で痛めた場合も対象となります。また自

費治療であれば、疲労などに対する施術も可能です。

受診者照会について

国民健康保険より受診者に対して整骨院・接骨院への通院状況などを問い合わせることがあります。負傷原因、治療部位などを、文書で照会しますので回答をお願いします。受診者の回答が負傷名と食い違う内容であった場合には、治療費が「不支給」になる場合があります。

保険が変わったときは 要注意

国民健康保険の方が会社などに就職した場合は、健康保険が変わります。医療機関には、その旨をきちんと伝えましょう。変更の届け出をしないと、医療機関は本来の請求先とは異なる誤った請求をすることになります。この場合、国民健康保険では負担ができませんので、医療機関を受診され

海外で診療を受けた場合

海外で診療を受けた場合は、給付の対象となる場合があります。所定の様式がありますので、保険介護課にお問い合わせください。また、申請の際は、パスポートなどで渡航履歴を確認させていただきますので、必ずご持参ください。

交通事故などの 第三者行為は届け出を

交通事故など第三者の行為が原因でケガや病気になった場合は、保険会社に連絡して「第三者行為による被害届」を提出してください。医療費は健康保険でいったん支払い、後で加害者に請求を行います。

医療費適正化のために

診療にかかった費用は、健康保険に加入している方の保険料からまかなわれています。医療費の適正な支出のため、ご協力をよろしくお願いします。

生活習慣病は、いつあな
健康チェック
年に1回の健診で
生活習慣病にならないために

生活習慣病は、いつあな